



ROCK PAINT

114ライン 5000番級

ハイパーユメロック

弱溶剤二液型NADアクリルシリコン樹脂塗料

親水性・低汚染性

高耐候・高耐久

弱溶剤型・低臭

防藻・防カビ性

環境低負荷

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

住



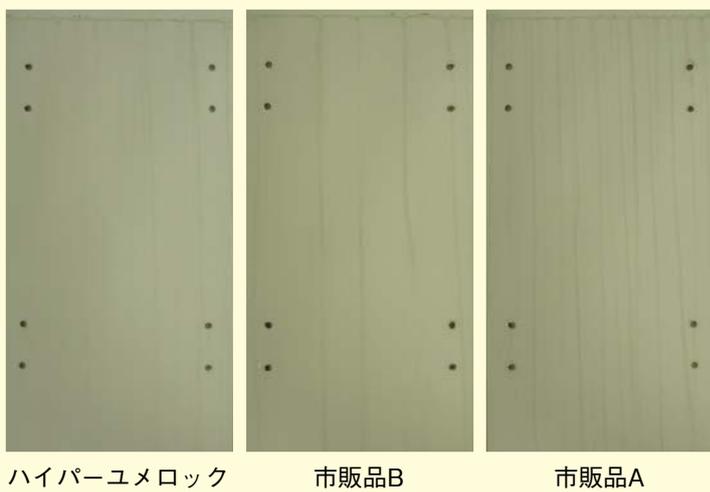
耐候性・低汚染性が弊社独自の技術によりさらに進化!
戸建て住宅はもちろん、マンション・集合住宅の改修に最適!
これからも塗料の夢を育みます。

特長

1. 新技術による、より一層の親水性、低汚染性が実現

特殊セラミック成分を配合することにより塗膜表面を親水化させ、すぐれた低汚染性を発揮します。

— 耐雨すじ汚染性比較試験結果 —



<低汚染性のメカニズム>

建築物の壁面などに見られる縦しま状の汚れ（雨すじ汚染）は、建築物上部の水平面や、傾斜面（屋根、パラペットなど）に汚れ物質がたい積し、降雨水とともに流れ落ちます。その時に汚れ物質が塗膜に付着することで、著しく美粧性を低下させます。

このような汚染を防止するには、塗膜表面を親水性（水の接触角が小さい。）にすると、降雨水が汚染物質の下に入り込み、いっしょに流れ落ちるので、水の流れが全体的になり、雨すじ汚れができにくくなります。

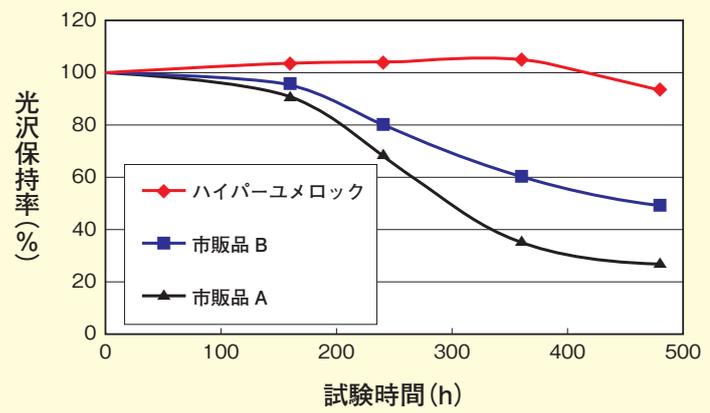
2. 高耐候性・高耐久性

特殊三元ハイブリッド形アクリルシリコン樹脂と紫外線(UV)をカットする技術を併用しており、酸性雨に対しても強く、すぐれた耐候性・耐久性を発揮します。

<促進耐候性試験機による試験>

塗膜形成後に強靱なシロキサン結合を形成する特殊三元ハイブリッド形アクリルシリコン樹脂により、すぐれた耐候性・耐久性を発揮します。また塗膜の劣化の原因となる紫外線から、樹脂・顔料の安定性をアップさせる技術を導入したことで、今まで以上に長期間初期の美しい塗膜を維持します。

メタルハライド促進耐候性試験結果



3. 抜群の塗装作業性、良好な仕上がり

NAD樹脂の特性を生かしたレオロジーコントロール技術により、さらに塗装しやすく、高級感のある美しい仕上がりになります。

4. ターペン希釈型・低臭型

溶解力の弱い溶剤を使用していますので、旧塗膜を侵しにくく、においもマイルドですので、周辺地域や作業環境にも配慮した塗料です。

5. 防藻・防カビ性

カビや藻類の発生を抑え、長期間に亘り清潔な住環境を維持します。

6. 環境低負荷

鉛・クロムなどの有害な重金属を原料に一切使用していませんので、環境にやさしい塗料です。

7. 幅広い用途適性

外壁のみならず、屋根(トタン、新屋根材、スレート瓦)、鉄部など新設、塗り替え改修用として幅広くご使用いただけます。

性能

項目		塗料種類	114L5000番級 ハイパーユメロック	114L ユメロック	2液NAD型 ウレタン樹脂塗料	2液溶剤型 アクリルシリコン樹脂塗料
光沢 (60° グロス)			85	85	85	80
乾燥時間	指触乾燥		25分	25分	25分	20分
	塗り重ね		2時間以上	2時間以上	2時間以上	24時間以上
耐水性			◎	◎	◎	◎
耐温水性			◎	◎	◎	◎
耐アルカリ性			◎	◎	○	◎
耐酸性			◎	◎	○	◎
耐衝撃性 (JIS K5600デュポン式)			500g×30cm合格	500g×30cm合格	500g×50cm合格	300g×30cm合格
耐屈曲性 φ3mm			○	○	○	×
促進耐候性※2 Xeon2500時間	ΔE*		1.1	1.6	2.2	1.3
	光沢保持率 ΔGR		95%	90%	58%	95%
耐汚染性			◎	○	△	◎

気温、天候状態、膜厚や素地の状態などにより多少異なります。

注) <評価の基準> 優 ◎>○>△>× 劣

用途

素地	セメント系		金属部 ^(注1)			屋根			プラスチック類 ^(注2)			
	コンクリート	モルタル	鉄	亜鉛メッキ	アルミ	トタン	新屋根材	スレート瓦	硬質塩ビ	軟質塩ビ	FRP	アクリル板
新設及び塗替適性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×

- コンクリート、モルタル、鉄・非鉄金属部、硬質塩ビなどの新設及び塗り替え。
- 屋根（トタン屋根、新屋根材、スレート屋根、コンクリート瓦など）の塗装及び塗り替え。
（注1）金属部に塗装する場合は、必ず下塗りに適性のサビ止めペイントを塗装してください。
（注2）アクリル板、軟質塩ビには塗装できません。

使用方法

- 配合比（重量比） 主剤：硬化剤＝9：1（13.5kg：1.5kg）
- 希釈剤・割合 016-0059 塗料用シンナー、016-0095 エナメルシンナー
ハケ・ローラー：5～15%、エアレス：10～20%
（硬化剤を配合した塗料100に対する希釈割合）
- 塗装回数 2回
- 塗付量 0.11～0.13kg/m²・回
- 塗布面積 115～135m²/15kg・回

可使時間・乾燥時間

硬化剤を配合した塗料は時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。
次の表を目安に、配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
可使時間を過ぎた塗料は正常な塗膜性能を発揮できず、艶引け・フクレ・はがれなどの原因となります。
乾燥時間は気温、膜厚、色、素地などの状態により異なりますが、おおむね下記の表を参考にしてください。

気 温	5℃	20℃	30℃
指 触 乾 燥	50分	25分	15分
塗 り 重 ね 可 能 時 間	4時間以上 7日以内	2時間以上 7日以内	1.5時間以上 3日以内
可 使 時 間	18時間	7時間	4時間

使用上の注意

- ① 調色には必ず114ライン5000番級ハイパーユメロック原色または、ロックトーンカララント3000（ベースの5%以内）を使用してください。
- ② 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- ③ 希釈には基本的に016-0059塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また必要以上に希釈するとタレや色分かれの原因になります。冬季に指触乾燥が遅い場合、016-0095エナメルシンナーを使用することもできます。
- ④ 2回塗りまたはタッチアップは、1回塗りの後、1週間以内に行ってください。1週間を過ぎるとシリコンの反応が進行し密着不良となるおそれがあります。また、降雨などの影響により、塗り重ね可能時間が短くなることがあります。手直しなどでやむを得ず1週間以上後に塗り重ねする場合は、表面荒らしなど必要な処置を実施してください。